



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月2日

上場会社名 川本産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 3604 URL <https://www.kawamoto-sangyo.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)福井 誠
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役執行役員経営企画室室長 (氏名)吉田 康晃 (TEL)06(6943)8951
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	7,322	△3.2	△39	—	16	△86.0	42	△43.9
2023年3月期第1四半期	7,566	0.8	81	△55.9	118	△42.9	76	△48.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 103百万円(△26.2%) 2023年3月期第1四半期 140百万円(△16.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 7.37	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	13.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	19,462	7,318	34.1
2023年3月期	19,510	7,307	34.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 6,637百万円 2023年3月期 6,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		0.00	—	18.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,200	0.5	310	11.2	345	1.2	239	10.1	41.24
通期	31,000	2.0	780	12.7	830	0.6	576	△22.9	99.40

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	6,000,000株	2023年3月期	6,000,000株
2024年3月期1Q	204,480株	2023年3月期	204,480株
2024年3月期1Q	5,795,520株	2023年3月期1Q	5,795,520株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、政府は2023年5月上旬に新型コロナウイルス感染症の位置づけを5類感染症へ移行し、結果、様々な行動制限が解除され、社会経済活動の正常化が進みました。一方、世界的な資源価格の上昇や急激な為替の変動、地政学リスクの高まりなど、依然として先行きは未だ不透明な状況が続きました。

当社グループが属する医療衛生材料業界は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染管理製品をはじめとした医療消耗品の市場が拡大いたしました。感染管理製品につきましては、感染者数によって製品の需要に増減はあるものの、感染拡大が始まった2020年度と比較するとその需要は減少しております。また、当業界は政府による医療費適正化に向けた取組みの流れの中にあり、衛生材料を含む医療消耗品は引き続き価格競争に晒されており、加えて、原材料価格やエネルギーコストの高騰、円安に起因する輸入品価格の上昇など、厳しい事業環境が続きました。育児用品の業界におきましては、2022年の国内出生数は77万人となり、7年連続で減少するなど引き続きマーケットの縮小に直面しております。

このような状況の下、当社はメディカル事業、コンシューマ事業ともに自社製品の売上高の拡大及び利益率の改善を基本方針として取り組んでまいりました。売上高は、新型コロナウイルス感染症の5類分類変更の影響もあり、メディカル事業、コンシューマ事業ともに感染管理製品の落ち込みが激しく、減収となりました。利益面では、売上高の減少に加え、原材料価格や光熱費等の上昇、円安による輸入品価格の高騰など売上原価が増加しております。また、使用期限のある感染管理製品の一部を評価減したことも、売上総利益のマイナスに影響いたしました。

以上の結果、第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は7,322,658千円（前年同四半期比3.2%減）、営業損失は39,627千円（前年同四半期は81,059千円の営業利益）、経常利益は16,524千円（同86.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は42,686千円（同43.9%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(メディカル事業)

メディカル事業では感染管理製品や口腔ケア製品、手術関連製品の拡販及び製造受託の拡大に努めました。感染管理製品につきましては、医療従事者が使用する個人用防護具の売上が大きく減少いたしました。口腔ケア製品、手術関連製品では、積極的な販売活動の結果、前年同期比で約10%増加いたしました。また、医療機器等の製造受託においても、継続して受託活動に取り組んだ結果、売上が増加しております。利益面では、感染管理製品の販売価格の下落に加え、原材料価格や光熱費等の上昇、円安による輸入製品の仕入価格高騰及び使用期限のある感染管理製品の一部を評価減したことで、セグメント利益が大きく減少いたしました。

以上の結果、売上高は1,955,928千円（前年同四半期比3.3%減）、セグメント損失は21,151千円（前年同四半期は50,908千円のセグメント利益）となりました。

(コンシューマ事業)

コンシューマ事業では、新型コロナウイルス感染症の5類分類変更の影響で、カラーマスクを除く通常のマスクの売上が大きく減少いたしました。カラーマスクにつきましては、新型コロナウイルス感染症の5類分類変更後も減少しておらず、堅調に推移しております。介護製品につきましては、ドラッグストア向けの販売が好調に推移いたしました。その他、育児用品、口腔ケア製品、各種衛生材料及び医療用品等につきましては、得意先ごとの増減はあるものの、堅調に推移しております。利益面では、自社製品における原材料価格や光熱費等の上昇、輸入製品の仕入価格高騰の影響を受け、セグメント利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は5,366,730千円（前年同四半期比3.2%減）、セグメント利益は174,484千円（同7.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は19,462,276千円、自己資本は6,637,561千円で、自己資本比率は34.1%（前連結会計年度末は34.1%）となりました。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は19,462,276千円となり、前連結会計年度末に対して47,807千円減少いたしました。

流動資産は14,369,398千円で、前連結会計年度末に対して234,152千円減少いたしました。「現金及び預金」が130,758千円増加した一方で、「受取手形及び売掛金」に「電子記録債権」を加えた売上債権が124,082千円減少、「有価証券」が209,739千円減少したことが主な要因です。

固定資産は5,092,877千円で、前連結会計年度末に対して186,345千円増加いたしました。「有形固定資産」が152,537千円増加したことが主な要因です。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は12,143,705千円となり、前連結会計年度末に対して58,663千円減少いたしました。

流動負債は8,897,410千円で、前連結会計年度末に対して114,494千円増加いたしました。「支払手形及び買掛金」が213,433千円減少した一方で、「関係会社短期借入金」が399,999千円増加したことが主な要因です。

固定負債は3,246,295千円で、前連結会計年度末に対して173,157千円減少いたしました。「役員退職慰労引当金」が186,922千円減少したことが主な要因です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は7,318,570千円となり、前連結会計年度末に対して10,855千円増加いたしました。「利益剰余金」が50,042千円減少した一方で、「その他有価証券評価差額金」が30,700千円増加、「為替換算調整勘定」が17,766千円増加、「非支配株主持分」が20,006千円増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月9日公表の業績予想に変更はありません。今後、第2四半期連結累計期間及び通期の業績見込については見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,317,653	1,448,412
受取手形及び売掛金	4,864,781	4,412,481
電子記録債権	4,473,846	4,802,064
有価証券	211,972	2,233
商品及び製品	2,368,674	2,382,932
仕掛品	352,190	340,254
原材料及び貯蔵品	198,638	210,418
その他	836,120	790,933
貸倒引当金	△20,327	△20,331
流動資産合計	14,603,550	14,369,398
固定資産		
有形固定資産	3,128,222	3,280,760
無形固定資産		
のれん	237,690	231,854
その他	456,147	455,462
無形固定資産合計	693,837	687,316
投資その他の資産		
繰延税金資産	227,398	218,470
その他	886,013	935,079
貸倒引当金	△28,939	△28,749
投資その他の資産合計	1,084,472	1,124,800
固定資産合計	4,906,532	5,092,877
資産合計	19,510,083	19,462,276

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,788,501	3,575,068
短期借入金	1,000,000	1,000,000
関係会社短期借入金	1,500,000	1,899,999
1年内返済予定の長期借入金	1,245,677	1,214,138
未払法人税等	212,626	26,162
賞与引当金	173,914	64,206
返金負債	235,004	190,190
その他	627,191	927,645
流動負債合計	8,782,915	8,897,410
固定負債		
長期借入金	2,461,263	2,474,139
退職給付に係る負債	420,924	400,294
役員退職慰労引当金	186,922	—
資産除去債務	30,035	47,584
その他	320,307	324,278
固定負債合計	3,419,453	3,246,295
負債合計	12,202,368	12,143,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,000	883,000
資本剰余金	1,148,407	1,148,407
利益剰余金	4,140,288	4,090,246
自己株式	△74,457	△74,457
株主資本合計	6,097,238	6,047,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180,895	211,596
為替換算調整勘定	182,701	200,467
退職給付に係る調整累計額	185,876	178,301
その他の包括利益累計額合計	549,473	590,365
非支配株主持分	661,002	681,008
純資産合計	7,307,714	7,318,570
負債純資産合計	19,510,083	19,462,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	7,566,862	7,322,658
売上原価	6,275,017	6,181,703
売上総利益	1,291,844	1,140,955
販売費及び一般管理費	1,210,784	1,180,583
営業利益又は営業損失(△)	81,059	△39,627
営業外収益		
受取利息	209	1,347
受取配当金	5,561	6,210
為替差益	11,954	32,522
仕入割引	16,644	14,928
その他	8,924	8,743
営業外収益合計	43,293	63,753
営業外費用		
支払利息	3,990	6,043
その他	2,169	1,557
営業外費用合計	6,159	7,601
経常利益	118,193	16,524
特別利益		
固定資産売却益	—	48
子会社役員退職金返上益	—	70,000
特別利益合計	—	70,048
特別損失		
固定資産除売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	118,193	86,572
法人税、住民税及び事業税	50,426	20,320
法人税等調整額	△10,737	3,559
法人税等合計	39,689	23,880
四半期純利益	78,504	62,692
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,353	20,006
親会社株主に帰属する四半期純利益	76,150	42,686

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	78,504	62,692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,716	30,700
為替換算調整勘定	75,875	17,766
退職給付に係る調整額	△4,386	△7,574
その他の包括利益合計	61,773	40,891
四半期包括利益	140,277	103,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	137,923	83,578
非支配株主に係る四半期包括利益	2,353	20,006

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	メディカル事業	コンシューマ事業	計		
売上高					
国内製造事業	1,886,739	465,587	2,352,326	—	2,352,326
国内卸売事業	—	4,991,858	4,991,858	—	4,991,858
海外事業	134,911	—	134,911	—	134,911
その他の事業	—	87,767	87,767	—	87,767
外部顧客への売上高	2,021,650	5,545,212	7,566,862	—	7,566,862
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,021,650	5,545,212	7,566,862	—	7,566,862
セグメント利益	50,908	189,319	240,227	△122,034	118,193

(注) 1. セグメント利益の調整額△122,034千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益の額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	メディカル事業	コンシューマ事業	計		
売上高					
国内製造事業	1,750,385	697,038	2,447,423	—	2,447,423
国内卸売事業	—	4,588,438	4,588,438	—	4,588,438
海外事業	205,543	—	205,543	—	205,543
その他の事業	—	81,254	81,254	—	81,254
外部顧客への売上高	1,955,928	5,366,730	7,322,658	—	7,322,658
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,955,928	5,366,730	7,322,658	—	7,322,658
セグメント利益又は損失(△)	△21,151	174,484	153,333	△136,809	16,524

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△136,809千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益の額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。